【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD革命/Partition EX2」（コンピューター・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

１．使用許諾

①お客様は本ソフトウェアを、１台のコンピューターに限り使用できます。
②お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

２．使用許諾期間

①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められるまでを有効とします。
②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARKは本契約を一方的に終了させていただくことがあります。

３．保証および責任の内容

①CDおよびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後90日以内は無償で交換いたします。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
②ARKは、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Webページにてご案内をいたします。
③ARKは、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
④サポートサービスは、ARKの規定に沿って電話、メール、FAXで行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
⑤ARKは、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARKからお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Webサイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へのご連絡とさせていただきます。
⑥ARKおよびMicrosoftは、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
⑧本契約のもとで、ARKがお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限りません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

４．禁止事項

①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
③ARKへの文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
④ARKへの事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

５．その他

①お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。
②本ソフトウェアの一部機能はWindows PEを使用しており、Windows PEはMicrosoft社およびMicrosoft関連会社のライセンスとなります。
③Windows PEについて、Microsoft社およびMicrosoft関連会社でのサポートは行いません。
④Windows PEは、起動から72時間後に再起動します。

著作権

・HD革命/Partition EX2の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
・HD革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目　　次

第１章
HD革命/Partition EX2の使用開始にあたって

・HD 革命 /Partition EX2 をご利用いただけるシステム環境 …… 1-2
・HD 革命 /Partition EX2 のインストール …… 1-4
・注意事項・制限事項 …… 1-5

第２章
ドライブの操作

・パーティション操作を始める前に …… 2-2
・パーティションについて …… 2-3
・HD 革命 /Partition EX2 メイン画面 …… 2-5
・ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する …… 2-6
・ドライブを縮小する（システムドライブの縮小） …… 2-9
・ドライブを拡大する（システムドライブの拡大） …… 2-11
・ドライブを縮小する（データドライブの縮小） …… 2-13
・ドライブを拡大する（データドライブの拡大） …… 2-16
・ドライブを分割する …… 2-18
・ドライブを結合する …… 2-21
・ドライブを移動する …… 2-24
・ドライブをフォーマットする …… 2-26
・ドライブを削除する …… 2-28
・拡張パーティションを削除する …… 2-30
・基本パーティションを作成する …… 2-32
・拡張パーティションを作成する …… 2-34
・拡張パーティションの中に論理ドライブを作成する …… 2-36
・基本パーティションの１つを論理ドライブにする …… 2-38
・ドライブ情報を表示する …… 2-42

第３章
CD で起動してパーティションを操作

・CD でコンピューターを起動 …… 3-2
・CD で起動してパーティションの操作 …… 3-3

第４章
便利ツール

・ドライブ情報の取得 …… 4-2
・コンピューター情報の取得 …… 4-3

第５章
参考資料

・ディスクの初期化とパーティションの作成
（Windows 7/Vista） …… 5-2
・ディスクの初期化とパーティションの作成
（Windows XP） …… 5-4

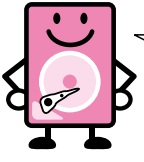
付録

・㈱アーク情報システム　お客様情報保護方針 …… 付 -2
・ユーザーサポートのご利用にあたって …… 付 -4
・ユーザーサポート申込書 付 -5

第 1 章

HD 革命 /Partition EX2 の使用開始にあたって

（動作環境・インストール・注意事項 / 制限事項）



ここでは、HD 革命 /Partition EX2 の動作環境、インストール方法、HD 革命 /Partition EX2 をご利用いただくにあたってあらかじめお読みいただきたい注意事項や制限事項について説明しています。

HD革命/Partition EX2 をご利用いただけるシステム環境

HD 革命 /Partition EX2 をご利用いただくためには、次のコンピューターハードウェアおよびオペレーティングシステムが必要です。

インストールして使用する場合

オペレーティングシステム (いずれも日本語版)	・Windows 7 32bit/64bit 版（SP0 ～ SP1） ・Windows Vista 32bit 版（SP2 以降） ・Windows XP 32bit 版（SP3 以降） **※ Windows Vista/XP 64bit 版には対応していません。** **※サーバー系の OS には対応していません。** **※アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。**
コンピューター	上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピューター （PC/AT 互換機のみ） **※ Macintosh（Mac）には対応していません。**
メモリー	・Windows 7 64bit 版：2GB 以上 ・Windows 7 32bit 版 /Vista 32bit 版：512MB 以上（1GB 以上推奨） ・Windows XP 32bit 版：512MB 以上
CD/DVD ドライブ	CD-ROM が読み込めるドライブ
ハードディスク、SSD	50MB 以上の空き容量（本製品のインストール用として）
対応ファイルシステム	FAT32、NTFS（FAT16、exFAT には対応していません） **※ダイナミックディスクの環境で使用することはできません。**

HD 革命 /Partition EX2 は Symantec 社の「Norton GoBack」とは共存できません。

CD 起動版について

製品 CD から起動して操作する機能のみをもつ版です。Windows にインストールすることはできません。インストールして使用する場合と一部の動作が異なります。

製品 CD から起動して使用する場合（CD 起動版）

本製品では CD から起動する場合に Windows PE を使用します。

オペレーティングシステム	製品 CD 収録の Windows PE を起動するため、インストールされているオペレーティングシステムに依存せずに本製品を使用できます。
コンピューター	インストールして使用する場合と同様 ※ CD からコンピューターを起動できる環境が必要です。
メモリー	512MB 以上（ビデオメモリーと兼用の場合は 1GB 以上）
CD/DVD ドライブ	CD-ROM が読み込めるドライブ
ハードディスク、SSD	パーティション操作を行うハードディスク
対応ファイルシステム	インストールして使用する場合と同様
その他	RAID、SCSI 環境で使用している場合、それに対応したドライバ ※製品 CD から起動した際、ハードディスクが認識されなかった場合に必要です。

起動デバイスの優先順位について

通常のコンピューターは、電源を入れるとハードディスクにインストールされた OS が起動するようになっています。しかし、OS を起動することができるデバイスはハードディスクだけではなく、CD や USB デバイスからも起動は可能です。
最近のコンピューターであれば、ほとんどの機種で CD や USB デバイスの OS も起動することができますが、初期状態はハードディスクから起動する設定になっていることが多いため、そのままでは起動できないことがあります。
CD や USB デバイスから起動するためには、起動時にファンクションキーを押してメニューを呼び出しデバイスの選択をすることや、BIOS と呼ばれる設定画面で設定を変更することが必要です。
多くの機種は、起動時のメーカーロゴが表示されている間に、「F12：Boot Menu」、「F2：起動メニュー」、「Press<F2>BIOS Setup」というような文字が表示されますので、指定されたキーを押すことで起動メニューや BIOS に入ることができます。ここで起動するデバイスを選択することで、CD や USB デバイスから起動ができるようになります。
起動するデバイスの変更方法はメーカーや機種によって様々であるため、その具体的な方法は弊社ではお答えすることはできません。コンピューター付属のマニュアルやヘルプを参照するか、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。

《起動デバイスの設定例》

●起動メニューがある機種

DELL　Vostro 220s
①メーカーロゴが表示されている間に「F12」キーを押す。
②表示されるリストの中で起動するデバイスを選択する。

東芝　DynaBook SS RX2/T8K N
①メーカーロゴが表示されている間に「F12」キーを押す。
②画面下にアイコンが表示されるので、起動するデバイスのアイコンを選択する。

● BIOS で設定する機種

NEC　VALUESTAR PC-VN550VG6B
①メーカーロゴが表示されている間に「F2」キーを押す。
②「BOOT」メニューの中で「1st Boot Device」を起動するデバイスに設定する。

HD革命/Partition EX2 のインストール

旧バージョンの HD 革命 /Partition EX または HD 革命 /Partition Lite をインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを始めてください。

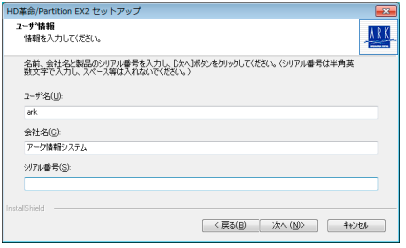
CD 起動版は Windows が起動した状態では使用することはできません(第 3 章をご覧ください)。

インストール開始

「インストール開始」をクリックします（CD 起動版ではこのボタンは表示されません)。

シリアル番号の入力

シリアル番号を入力します。



シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン（－）も必要です。
（例）ABCD - E12 - FGH345JK67
受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

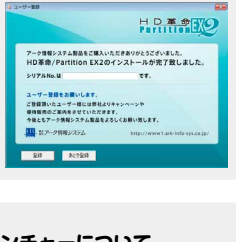
再起動

インストール後はコンピューターを再起動します。

アンインストールは、Windows の「コントロール パネル」を開き、「プログラムのアンインストール」、または「プログラムの追加と削除（アプリケーションの追加と削除)」から行ってください。

ユーザー登録画面

Windows のスタートメニューで「HD 革命 Partition EX2」→「ユーザー登録」を選択するとユーザー登録画面が表示されます。「登 録」ボタンをクリックすると弊社 Web サイトのユーザー登録ページが開きます。



Ark ランチャーについて

インストール後、デスクトップに「Ark ランチャー」のアイコンが作成されます。Ark ランチャーからは HD 革命 / Partition EX2 のメイン画面や各種ツールを起動することができます。

注意事項・制限事項

インストールして使用する場合

HD 革命 /Partition EX2 でパーティションの操作が可能なユーザーは「管理者権限」をもったユーザーに限られます。制限付ユーザー権限では実行できません。

対応ファイルシステムについて

対応しているファイルシステムは、FAT32、NTFS となります。FAT16、exFAT には対応していません。また、ダイナミックディスクの環境では使用できません。

FAT32 における制限について

ドライブの作成、ドライブの分割、フォーマットを行う際にファイルシステムを FAT32 とする場合、最大値は 32GB（32,768MB）となります。これより大きなサイズにする場合は、NTFS しか選択できません。

パーティション操作時の注意・制限事項

パーティション操作時には、次のような注意・制限事項があります。

・USB2.0 や IEEE1394 接続などの外付けハードディスクにも使用できますが、リムーバブルドライブとして認識されているハードディスクでは使用できません。
・ファイルの断片化が大きいハードディスクや空き容量が少ないハードディスクでは、パーティションの操作ができない場合があります。
・マルチブート環境でも使用できますが、サイズ変更やドライブの作成、削除を行うと、操作後のドライブ構成やドライブ数が変更されるため、OS を起動できなくなることがあります。
・ファイルシステムが FAT32 と NTFS 以外では、ドライブの境界を移動してサイズ変更を行うことはできません。
・ドライブのフォーマットや削除を行うとデータがすべて消去されます。元に戻すことはできませんので操作は十分注意して行ってください。
・ドライブの結合において、結合する 2 つのドライブのファイルシステムが NTFS でクラスタサイズが同じの場合は、結合先のデータは消去されずに結合元ドライブに作成されたフォルダーの中にデータが保存されます。ただし、クラスタサイズが異なる場合や、結合するドライブに FAT32 が含まれる場合は、結合先ドライブのデータは消去されます。
・コンピューターによっては、パーティションの数やサイズが変更されるとリカバリーができなくなることがあります。
・ハードディスクの先頭または後方にある小さな「空き領域」が存在する環境がありますが、この領域は Windows が使用する領域のため、HD 革命 /Partition EX2 でパーティションの操作を行うことはできません。

「システムで予約済み」パーティションについて

Windows 7 では、システムドライブ（通常は C ドライブ）とは別に、Windows が起動するために必要なファイルが保存されている「システムで予約済み」パーティションが存在する場合があります。このパーティションは、Windows 7 の起動パーティションのため、フォーマット、削除、結合を行うと Windows 7 が起動できなくなります。インストールして操作する場合はこのパーティションは操作できませんが、CD から起動した場合は操作が可能となりますので、十分注意してください。

「ディスクに対するアクセス権が取得できません」と表示されることについて

コンピューターの管理者（アドミニストレータ）でないユーザーでは、パーティションの操作ができません。ユーザー権限を確認してください。

また、リムーバブルドライブやフラッシュメモリ、カードリーダーが接続されている場合にも表示されることがあります。このような場合は、電源を切るか接続を外してください。なお、「デバイス マネージャ」で該当するデバイスを「無効」にする方法もあります。

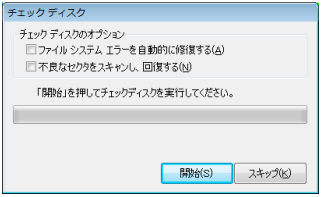
起動時に Windows ロゴを表示しない（GUI ブートをしない）設定の場合

Windows の「システム構成ユーティリティ」で、「GUI ブートなし（7/vista）」、「/NOGUIBOOT（XP）」のオプションを有効にしている環境では、パーティション操作の進行状況が表示されません。ハードディスクのアクセスランプが点滅している間は処理が行われているので、電源を切ったりリセットをしたりしないでください。このオプションは操作を行う前に無効にするようにしてください。

「チェックディスク」について

「HD 革命 /Partition EX2」では、パーティションの操作を行う前に「チェック ディスク」を行うかどうかを選択します。この「チェックディスク」は、Windows 付属の機能を呼び出しています。

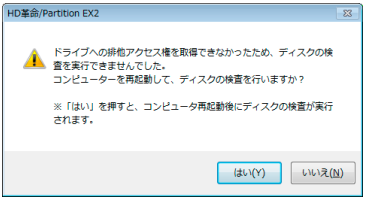
「チェック ディスク」は必ず行う必要はありません。スキップすることもできますので、必要に応じて行ってください。なお、再起動してからチェックディスクを行う場合は、チェックディスク終了後にもう一度 HD 革命 / Partition EX2 を実行し、はじめから操作を行ってください。



・「チェックディスクのオプション」を選択した場合

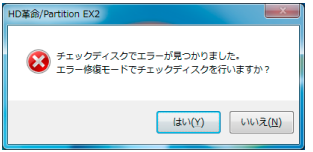
上のチェックディスクの画面で「チェックディスクのオプション」を選択した場合、システムドライブではコンピューターを再起動してからチェックディスクが行われます。

次のメッセージが表示されますので、「はい」をクリックして、コンピューターを再起動してチェックディスクを行ってください。チェックディスク終了まで時間がかかりますので、実行する場合は注意してください。



・エラーが検出された場合

チェックディスクでエラーが検出された場合は、次のメッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、コンピューターが再起動してから再度チェックディスクが行われます。なお、「チェックディスク」ではディ

スク監視ソフトやアンチウィルスソフトが動作していると、影響を受けてエラーとなることがあります。何度繰り返してもエラーとなるような場合は、このようなソフトウェアの常駐を停止させるか、アンインストールを行ってみてください。

パーティションのエラーについて

HD 革命 /Partition EX2 では、エラーがあるハードディスクの操作はできません。エラーには、主に以下のようなものがあります。

・パーティションテーブルにエラーがある（不正な値が書き込まれている）
・不良クラスタ（不良セクタ）が存在する
・ファイルシステムが破損している
・パーティションのブートセクタが破損している
・物理的に故障している

また、動作はしていても、頻繁にフリーズしたり異音がしたりするなどの異常がある場合は、予期せぬ不具合が生じる可能性が高くなります。安全のためにこのようなディスクでの操作は行わないようにしてください。

エラーがある状態ではメイン画面のドライブバーにエラーが表示され、操作ができません。

1- 8 ページの表は、パーティションテーブルにエラーがある場合のエラーコードとその詳細ですが、エラーの原因や修復方法は弊社ではお答えできませんので、お使いの PC メーカーやハードディスクのメーカーなどにお問い合わせください。

ドライブ文字について

HD 革命 /Partition EX2 でドライブの操作を行うと、ハードディスクや CD/DVD のドライブ文字が変更される場合があります。また、ドライブの分割と作成を行うとき、新しく作成されるドライブの文字は指定できません。

ドライブ文字を任意の文字に割り当てたい場合は Windows の「コンピューターの管理」の中で「ディスクの管理」を開き、ドライブ文字を変更するドライブを右クリックし、「ドライブ文字とパスの変更」と選択します。

詳しくは Windows のヘルプなどをご覧ください。

CD から起動して操作する場合（CD 起動版）の注意事項

「CD 起動版」は Windows PE を使用しています。そのため、インストールして操作を行うのと同じようにパーティションの操作を行うことができますが、次のような注意・制限事項があります。

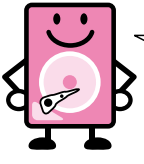
・ハードディスクの認識する順番やドライブ文字が Windows 上とは異なる場合があります。
・Windows 7 の「システムで予約済み」パーティションは「C ドライブ」として認識されます。インストールして操作をする場合とドライブ文字が異なります。
・「システムで予約済み」パーティションの操作ができますが、フォーマット、削除、結合を行うと Windows 7 が起動できなくなりますので操作を行う際は十分注意してください。
・システムドライブを変更する場合でもコンピューターを再起動することなくパーティションの変更を行います。
・72 時間後に自動的に再起動します。

<参考：エラーコード一覧>

エラーコード	エラーの詳細
#1401 ドライブの位置が重なっています。	隣接するドライブの最後と最初の位置が重なっている。
#1402 ドライブのヘッド番号エラー	ドライブの開始ヘッド番号が、1より大きい。ドライブの終了ヘッド番号が、ディスクのヘッド数と一致していない。ドライブの開始ヘッド番号／終了ヘッド番号が、セクタ番号 (LBA) から計算したヘッド番号と一致しない。
#1403 トラックエラー	ドライブの開始トラック番号が、終了トラック番号よりも大きい。ドライブの終了トラック番号が、ディスクの全トラック数よりも大きい。ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、セクタ番号 (LBA) から計算したトラック番号と一致しない。
#1404 セクタエラー	ドライブの開始セクタ番号 (CHS) が、1より大きい。ドライブの終了セクタ番号 (CHS) が、ディスクのセクタ数 (CHS) と一致しない。ドライブの開始セクタ番号 (CHS) ／終了セクタ番号 (CHS) が、セクタ番号 (LBA) から計算したセクタ番号 (CHS) と一致しない。
#1405 ドライブの終了位置がシリンダの終了位置と合っていません。	ディスク内にある一番最後のドライブ (空き領域も含む) の終了トラック番号が、ディスクの全トラック数と一致しない。
#1406 論理ドライブは拡張領域の中にのみ存在可能です。	論理ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、拡張領域の開始トラック番号／終了トラック番号よりも外側に出ている。
#1409 1つのハードディスクには2つ以上の拡張領域を作成できません。	パーティションテーブル上に、拡張領域 (0x05、0x0F) のマークが2つ以上存在する。
#1411 拡張領域に基本ドライブは作成できません。	基本ドライブの開始トラック番号／終了トラック番号が、拡張領域の開始トラック番号／終了トラック番号よりも内側になっている。
#1412 アクティブドライブのフラッグエラー	パーティションテーブルのアクティブフラグを示す位置に、アクティブフラグ (0x80) 以外のマークが書かれている。
#1414 ドライブのシステム ID エラー	パーティションテーブルに書かれているファイルシステムの種類と、各ドライブの BPB(BIOS Parameter Block) に書かれているファイルシステムの種類が一致しない。
#1417 ドライブのセクタ数エラー	パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、各ドライブの BPB(BIOS Parameter Block) に書かれているセクタ数が一致しない。パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、CHS から計算したドライブのセクタ数が一致しない。
#1812 ディスク・シーケンスエラー	ディスク0が存在しない。ディスク番号が連続していない (間が抜けている)。
#1813 ドライブ位置エラー	パーティションテーブルに書かれているドライブのセクタ数と、ドライブの Bitmap を解析して得られたドライブのセクタ数が一致しない。ドライブの全容量が、「ドライブの使用済み容量＋ドライブの空き容量」と一致しない。

第２章

ドライブの操作



ここでは、HD革命/Partition EX2によってドライブの拡大、縮小、分割、結合などの操作を行う方法について説明しています。

パーティション操作を始める前に

HD革命/Partition EX2は、パーティションのサイズ変更や分割、削除を行うアプリケーションです。

パーティション操作を行うときに、ハードディスクの情報（マスターブートレコードやパーティションテーブル）を書き換える処理が行われます。ここには、起動に関する情報やサイズ情報が記録されており、パーティション操作中に予期せぬトラブルが発生した場合は、ファイルが破損するなどの問題が発生する可能性があります。また、システムドライブの場合は、Windows が起動できなくなることもあります。

HD革命/Partition EX2をご使用になる前に、以下の内容について確認をしてください。

①パーティションの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやCD/DVD、フラッシュメモリーなどにバックアップ（コピーまたは移動）してください。

②操作を行うハードディスクを間違えないようにしてください。パーティション操作の対象外となるハードディスクや周辺機器は取り外すとより安全です。

③お使いの環境（オペレーティングシステム、ハードウェアなど）が不安定な状態にあるときは、パーティション操作を行わないようにしてください。

④ディスクの空き容量が少ない場合は、データを移動させるための作業領域が十分に確保できないため、操作に大変時間がかかります。また、操作に支障が出る場合があります。十分な空き容量を確保してから操作を行うようにしてください。

⑤操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいますので、パーティション操作中は、電源を切る、リセットを行うなどの操作は行わないでください。

⑥パーティション操作は大変時間がかかる場合があります。ノートパソコンでご利用の場合は、バッテリー切れ防止のために電源アダプターをご利用ください。

⑦エラーがあるハードディスクではパーティション操作ができない場合があります。あらかじめディスクのエラーを検査するソフトウェアなどで状態を確認してください。

⑧ハードディスクの断片化が大きい場合は、パーティションの操作に時間がかかります。また、操作に支障がでる場合があります。あらかじめディスクの最適化を行ってください。。

⑨シマンテック社の「Norton GoBack」（Norton SystemWorks 同梱版も含む）とは同時にインストールして使用することはできません。

⑩アンチウィルスソフトとの併用は問題ありませんが、パーティション操作を行うときにアンチウィルスソフトから警告メッセージが表示されることがあります。この場合、プログラムの実行を許可してください。

パーティションについて

パーティションとは、ハードディスクをいくつかの領域に分割したときのそれぞれの領域を意味します。複数のパーティションに分割することで、物理的には１つのハードディスクであっても、複数のハードディスクがあるように見せることができます。

パーティションの種類

MBRディスク管理方式では、パーティションは３種類存在し、それぞれ以下のような特長があります。

基本パーティション…コンピューターを起動するためのパーティションです。OSがインストールされた基本パーティションが、通常Cドライブとなります。
「プライマリ パーティション」「基本領域」ともいいます。

拡張パーティション…基本パーティションと対になる領域ですが、拡張パーティションだけではドライブとして使用できません。
拡張パーティションの中に論理ドライブを作成することによって使用できるようになります。
「拡張領域」ともいいます。

論理ドライブ…拡張パーティションの中に作成するパーティションです。
「論理パーティション」ともいいます。

パーティションを作成する際の制限

MBRディスク管理方式では、１台のハードディスクに基本パーティションと拡張パーティションを合わせて４つまで作成することができます。

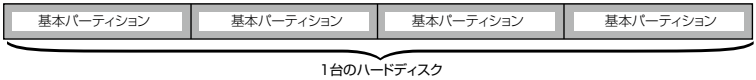
基本パーティションが４つある場合は、それ以上パーティションを作成することはできません。そのため、４つ以上のパーティションを作成するには、4つ目のパーティションを拡張パーティションとし、その中に論理ドライブを作成します。

拡張パーティションは１台のハードディスクに１つだけ作成できます。

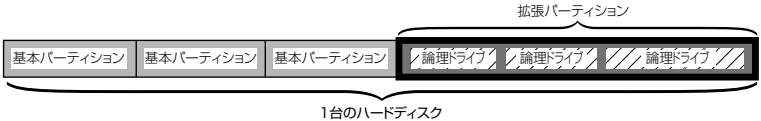
１つの拡張パーティション内に作成できる論理ドライブの数には制限はありません。

また、ドライブの１つ１つには、Ａ～Ｚまでのドライブ文字が割り当てられますので、実際に使用できるドライブ数は最大で26となります。

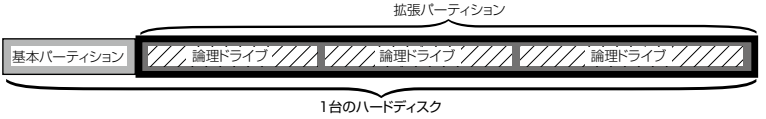
例１：基本パーティションが４つあるため、これ以上パーティションは作成できません。



例２：基本パーティションが３つと拡張パーティション１つを作成し、拡張パーティションの中に論理ドライブを３つ作成していますので、合計６つのパーティションとなります。



例3：基本パーティションを1つ、拡張パーティションの中に論理ドライブを3つ作成していますので、合計4つのパーティションとなります（基本パーティションは必ず3つ必要なわけではなく、このように1つにすることもできます）。



ファイルシステムとディスク管理方式

パーティション内のファイルを管理する方式をファイルシステムといい、Windowsで使用されるファイルシステムには、次のような種類があります。

GPTディスクとMBRディスク…GPTディスクは新しいディスクの管理方式で、「GUIDパーティションテーブル」の頭文字をとって「GPT」と呼びます。最大18EB（エクサバイト）までボリュームを作成でき、1台のディスクに最大128個のパーティションを作成できます。従来のディスクはMBR（マスターブートレコード）ディスクと呼びます。

FAT16、FAT32…FATはFile Allocation Tableの略。もっとも古いのがMS-DOS以降使用されてきたFAT16で、これを拡張したのがFAT32です。
FAT16では最大2GBまで、FAT32では最大2TB までのパーティションを扱うことができます。

exFAT…USBメモリーやメモリーカード向けのファイルシステムとして開発されましたが、ハードディスクでも使用できます。ただし、Windows Vista SP1以降のOSが必要です（XP SP3で使用するにはWindowsの更新が必要です）。FATの欠点を補うファイルシステムとなっています。

NTFS…NTFSはNew Technology File Systemの略で、WindowsNT以降のWindows（NT、2000、XP、Vista、7）で使用されます。
FAT32より安定性が高く、暗号化など高度な機能が使用できるため、より先進的なファイル管理方式となっています。

使用領域と空き領域

パーティションの使用状況により、以下のように区別されます。

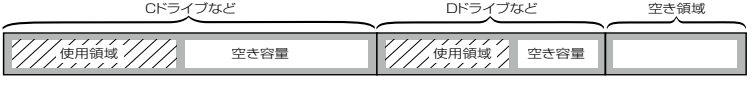
使用領域…パーティションの中でデータが存在し、使用されている領域のことです。データが存在しない部分は「空き容量」といいます。

空き領域…ハードディスクの中でパーティションとして割り当てられていない部分のことです。ドライブのサイズ変更や削除を行うことによってできた領域が「空き領域」になります。

Point

HD 革命 /Partition EX2 では、説明の便宜上「パーティション」「ドライブ」「領域」と、用語が混在していますが、同じ意味で使用しています。

使用領域と空き領域



HD 革命 /Partition EX2 メイン画面

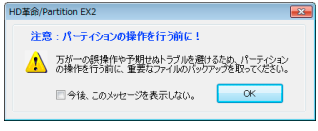
メイン画面では、接続されているハードディスクの状態が表示されます。この画面からパーティションの拡大や縮小などの操作を行います。

「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

HD革命/Partition EX2のメイン画面

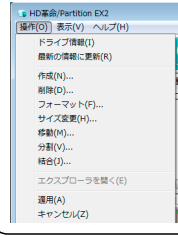
HD革命/Partition EX2のメイン画面の起動前に注意事項が表示されます。チェックボックスにチェックを入れると今後この注意事項は表示されません。



例えば「操作」メニューから「サイズ変更」を選択、またはドライブバーの中でサイズ変更したいドライブを右クリックして「サイズ変更」を選択しても同じ操作となります。

「ドライブ情報」～「終了」の操作についても同様にメニューから選択できます。

「操作」メニューから選択



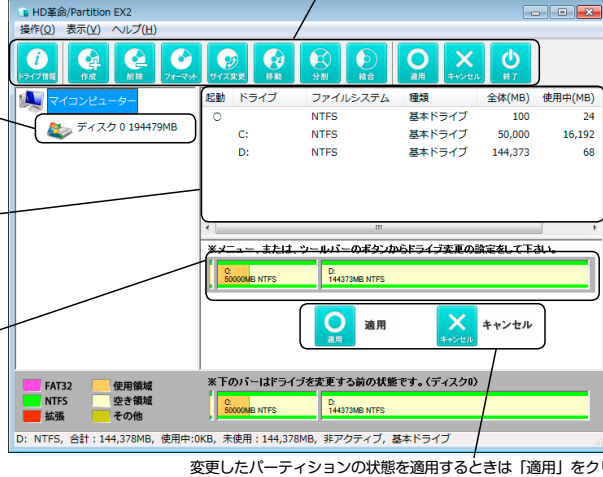
右クリックによるメニューから選択

各操作を行うためのボタンです。

接続されているハードディスクの状態が表示されます。

左の区域で選択したハードディスクのディスクの情報が表示されます。

表示されているドライブに対して分割や結合などの処理を行います。



変更したパーティションの状態を適用するときは「適用」をクリックします。「キャンセル」をクリックすると変更前の状態に戻ります。

ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する

パーティションの境界を移動し、隣り合うパーティションの比率を変更（サイズを変更）することができます。

ここでは、Windowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）を変更対象とする操作を例として説明します。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

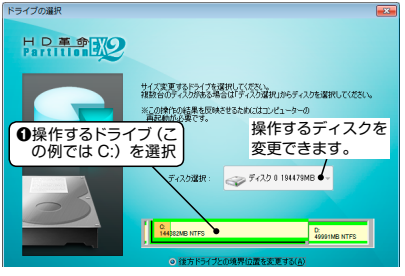
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 「サイズ変更」を選択

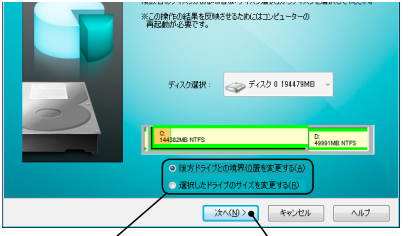
メイン画面で、ツールバーの中の「サイズ変更」ボタンをクリックします。

3 パーティションを選択

この例では操作対象をシステムドライブ（Cドライブ）にするので、ドライブバーの中でCドライブ（C:）をクリックします。



オプションは、標準で「後方ドライブとの境界を変更する」に設定されているので、ここでは変更する必要はありません。



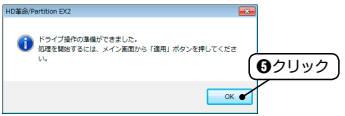
4 サイズを指定

入力ボックスで「サイズ」に数値を入力するか、ドライブバーで境界の位置を変更します。

5 サイズ変更後の状態を確認

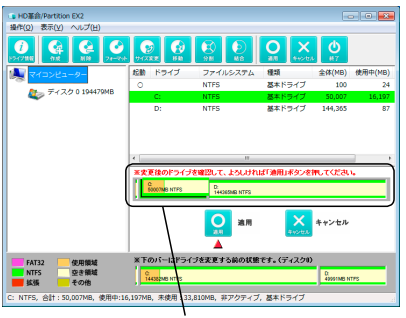
サイズ変更後の状態を確認します。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



6 メイン画面で確認

ドライブバーには、サイズ変更後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



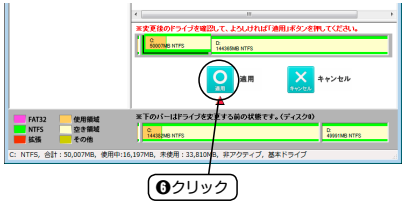
変更を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

Point

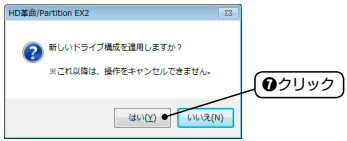
「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

7 変更を適用

サイズ変更を適用する場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

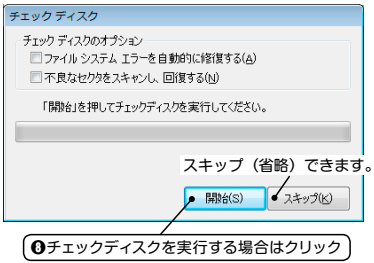


確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。



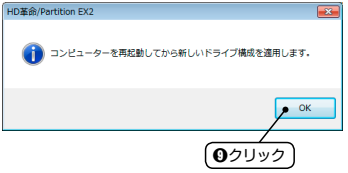
8 チェックディスクの実行

チェックディスクを行うかどうかを選択します（必ずしもここで行う必要はありません）。スキップすることも可能です。



9 コンピューターの再起動

パーティションの変更は、コンピューターを再起動してから実行されます。



Point

CD 起動して操作を行う場合はコンピューターを再起動せずに変更が行われます。

10 処理のキャンセル

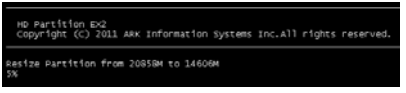
Windowsの再起動後に次の画面が表示されます。カウントダウンしている間に何かキーを押すと処理をキャンセルすることができます。

以降は実際にサイズ変更の処理が開始します。処理が開始すると、途中でキャンセルすることはできません。

11 進行状況の表示

処理中は進行状況が表示されます。

処理内容によっては、操作の完了までに時間がかかる場合があります。



操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

12 コンピューターの再起動

すべての処理が終わるとコンピューターが再起動します。

再起動後にチェックディスクが行われます。

Point

コンピューターによっては自動的に再起動ができません。この場合は手動で電源を落としてください。

ドライブを縮小する（システムドライブの縮小）

パーティションサイズの変更を行うためには、メイン画面で「サイズ変更」を選択します。

ここでは、Windowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）を縮小して「空き領域」をつくる操作を例として説明します。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

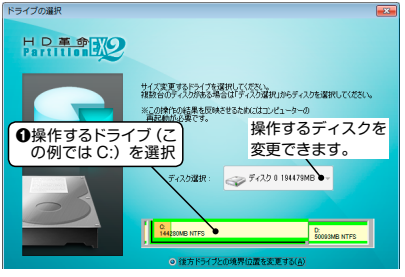
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 「サイズ変更」を選択

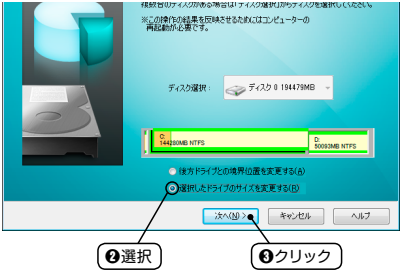
メイン画面で、ツールバーの中の「サイズ変更」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

この例では操作対象がシステムドライブ（Cドライブ）なので、ドライブバーの中でCドライブ（C：）をクリックします。



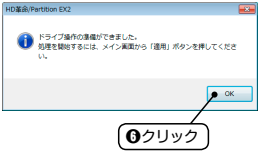
オプションの「選択したドライブのサイズを変更する」にチェックを入れます（この例では、縮小して空いた領域を「空き領域」とします）。



4 サイズを指定

この例ではCドライブの後方を縮小しますので、入力ボックスで「ドライブサイズ」または「後方の空き領域」に数値を入力するか、右側のドライブバーを移動してサイズを指定します。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



5 メイン画面で確認

ドライブバーにサイズ変更後のドライブの状態が表示されますので、下にある変更前の状態と比較することができます。

変更を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

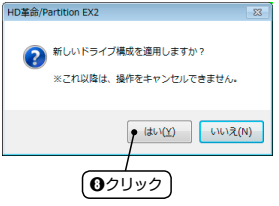
Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 変更を適用

サイズ変更を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、変更を適用する場合は「はい」をクリックします。



以降は「ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する」と同様にコンピューターが再起動して処理が行われます（2-8ページ❾～）。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

Point

CD 起動して操作を行う場合はコンピューターを再起動せずに変更が行われます。

ドライブを拡大する（システムドライブの拡大）

パーティションサイズの変更を行うためには、メイン画面で「サイズ変更」を選択します。

ここでは、Windowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）を拡大する操作を例として説明します（隣に「空き領域」がある場合にのみ拡大できます）。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

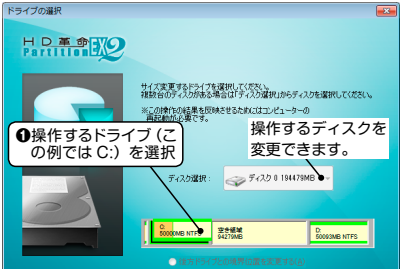
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 「サイズ変更」を選択

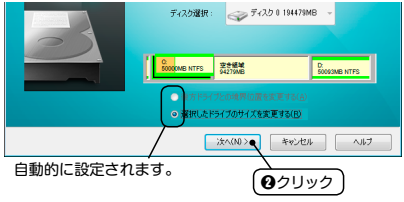
メイン画面で、ツールバーの中の「サイズ変更」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

この例では操作対象がシステムドライブ（Cドライブ）なので、ドライブバーの中でCドライブ（C：）をクリックします。



この例では、オプションは自動的に「選択したドライブのサイズを変更する」に設定されます。

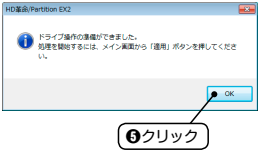


4 サイズを指定

この例ではCドライブの後方を拡大しますので、入力ボックスで「ドライブサイズ」または「後方の空き領域」に数値を入力するか、右側のドライブバーを移動してサイズを指定します。

空き領域をすべてCドライブに割り当てる場合は、後方の空き領域が0MBになるようにします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



5 メイン画面で確認

ドライブバーにサイズ変更後のドライブの状態が表示されますので、下に表示される変更前の状態と比較することができます。

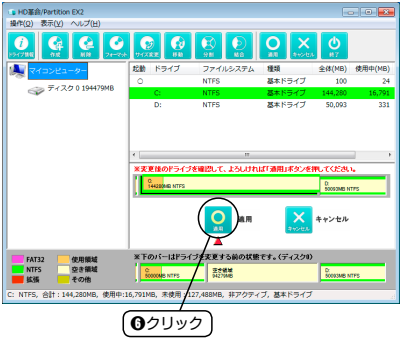
変更を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

Point

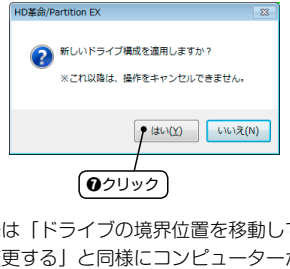
「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 変更を適用

サイズ変更を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。



確認メッセージが表示されますので、変更を適用する場合は「はい」をクリックします。



以降は「ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する」と同様にコンピューターが再起動して処理が行われます（2-8ページ❾～）。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

Point

CD 起動して操作を行う場合はコンピューターを再起動せずに変更が行われます。

ドライブを縮小する（データドライブの縮小）

Windowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）以外を操作する場合、Windowsを起動したまま処理が行われます。

ここでは、データドライブ（Dドライブ）を縮小する操作を例として説明します。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

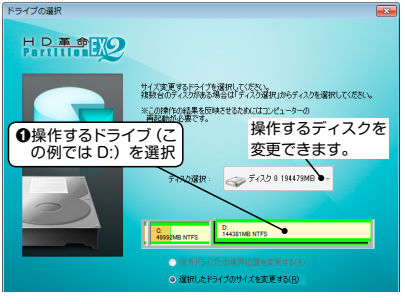
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 「サイズ変更」を選択

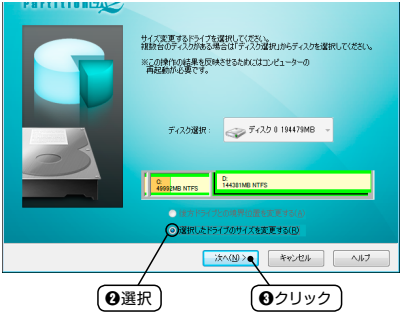
メイン画面で、ツールバーの中の「サイズ変更」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

この例では操作対象がデータドライブ（Dドライブ）なので、ドライブバーの中でDドライブ（D：）をクリックします。

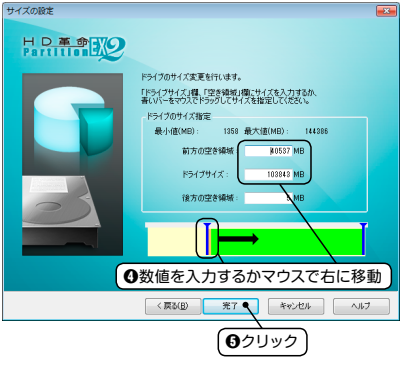


オプションの「選択したドライブのサイズを変更する」にチェックを入れます。

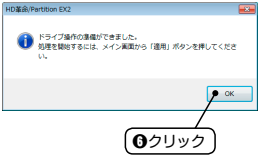


4 サイズを指定

この例ではDドライブの前方を縮小します。入力ボックスで「前方の空き領域」または「ドライブサイズ」に数値を入力するか、左側のドライブバーを右に移動してサイズを指定します。



確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



5 メイン画面で確認

ドライブバーにサイズ変更後のドライブの状態が表示されますので、下に表示される変更前の状態と比較することができます。

変更を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

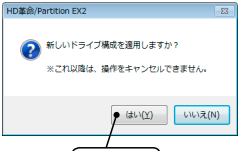
Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 変更を適用

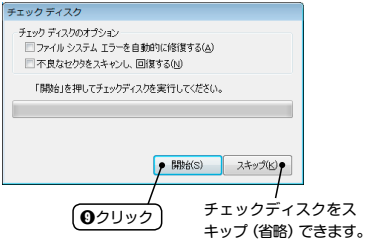
サイズ変更を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、変更を適用する場合は「はい」をクリックします。



7 チェックディスクの実行

チェックディスクを行うかどうかを選択します。チェックディスクはスキップすることができます。



8 進行状況の確認

処理中は進行状況が表示されます。処理内容によっては、操作の完了までに時間がかかる場合があります。

操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

Point

システム環境によっては、システムドライブの操作時と同様に再起動して処理が行われる場合があります。

9 操作の終了

「閉じる」をクリックします。

Point

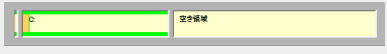
サイズ変更と分割

Cドライブを2つに分割する方法を「ドライブを分割する」（2-18ページ）に示していますが、「ドライブを縮小する」（2-9ページ）によって同じ結果を得ることができます。

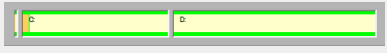
まずCドライブを縮小し、縮小部分にできた空き領域に基本パーティションを作成（2-32ページ）するか、または拡張パーティションの作成（2-34ページ）→論理ドライブの作成（2-36ページ）を行います。これによりCドライブが分割されます。

①最初にCドライブを縮小します。

②縮小した部分が空き領域になります。



③空き領域に新しいパーティションを作成します。



ドライブを拡大する（データドライブの拡大）

Windowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）以外を操作する場合、Windowsを起動したまま処理が行われます。

ここでは、データドライブ（Dドライブ）をシステムドライブの後方まで拡大する操作を例として説明します（C、Dドライブ間に空き領域があるものとします）。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

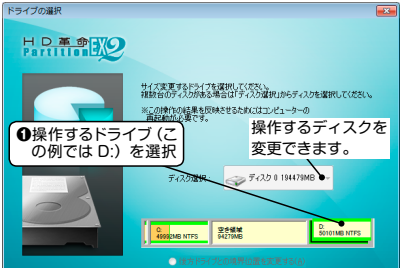
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 「サイズ変更」を選択

メイン画面で、ツールバーの中の「サイズ変更」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

この例では操作対象がデータドライブ（Dドライブ）なので、ドライブバーの中でDドライブ（D：）をクリックします。



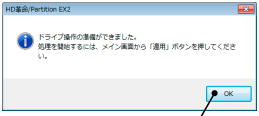
オプションの「選択したドライブのサイズを変更する」にチェックを入れます。

4 サイズを指定

この例ではDドライブの前方を拡大しますので、入力ボックスで「前方の空き領域」または「ドライブサイズ」に数値を入力するか、左側のドライブバーを移動してサイズを指定します。

空き領域をすべてDドライブに割り当てる場合、前方の空き領域が0MBになるようにします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



❻クリック

5 メイン画面で確認

ドライブバーにサイズ変更後のドライブの状態が表示されますので、下に表示される変更前の状態と比較することができます。

変更を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

Point

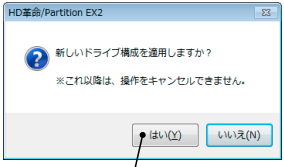
「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 変更を適用

サイズ変更を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

❼クリック

確認メッセージが表示されますので、変更を適用する場合は「はい」をクリックします。



❽クリック

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「チェックディスクの実行」(2-14ページ❼）以降の手順と同様となります。

操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

ドライブを分割する

１つのドライブを２つに分割することができます。

操作例ではWindowsがインストールされたシステムドライブ（Cドライブ）を２つのドライブに分割します。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

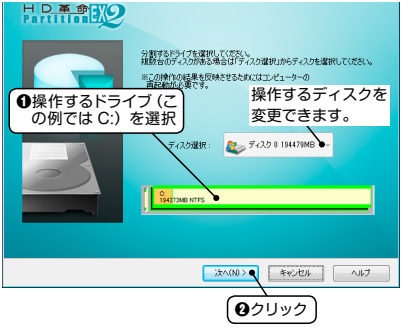
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「分割」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「分割」ボタンをクリックします。

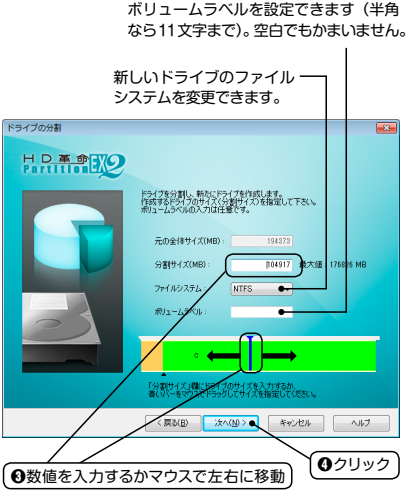
3 パーティションの選択

この例ではCドライブを分割するので、ドライブバーの中でCドライブをクリックします。



4 サイズを指定

入力ボックスで「分割サイズ」に数値（新たに作成されるドライブのサイズ）を入力するか、ドライブバーを移動してサイズを指定します。



Point

ファイルシステムがFAT32の場合、分割サイズの最大値は32GB(32768MB)となります。それ以上のサイズになるとNTFSに切り替わります。

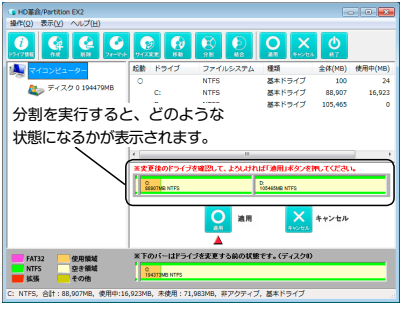
5 分割後の状態を確認

分割後の状態を確認します。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

6 メイン画面で確認

ドライブバーに分割後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



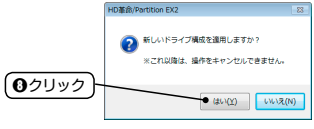
Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

7 ドライブの分割を適用

ドライブの分割を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。



以降は「ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する」と同様にコンピューターが再起動して処理が行われます（2-8ページ❾～）。

システムドライブ以外を分割する場合はWindowsが起動した状態で処理が行われます（2-14ページ❼～）。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

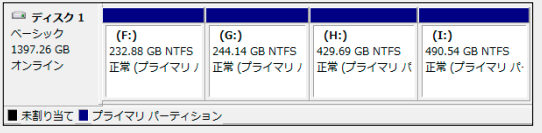
ドライブの分割ができないパーティション構成

１台のハードディスクには、基本パーティション（プライマリパーティション）と拡張パーティションを合わせて４つまでパーティションを作成できます。ただし、拡張パーティションは１つしか作成できません。メーカー製のコンピューターでは、出荷時の状態でハードディスクが４つの基本パーティションで構成されている機種がありますが、このようなパーティション構成では、パーティションを分割して新たにパーティションを作成することはできません。また、パーティションを縮小して新しく作成しようとしても同様です。

４つ以上のパーティションを作成したい場合は、基本パーティションの１つを削除して拡張パーティションを作成し、その中に論理ドライブを作成する必要があります。この操作については、2-38ページの「基本パーティションの１つを論理ドライブにする」をご覧ください。

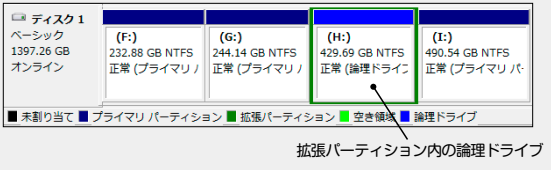
●基本パーティションが４つの構成

この構成例ではどのパーティションを選択しても分割することはできません。



●基本パーティションが３つのと拡張パーティションが１つの構成

拡張パーティションの左にある基本パーティションと、拡張パーティション内の論理ドライブは分割することができます。下の構成例では、左から１番目（F：）と４番目（I：）の基本パーティションを分割することはできませんが、２番目（G：）の基本パーティションと３番目（H：）の論理ドライブは分割することができます。なお、２番目（G：）の基本パーティションを分割する場合、分割したパーティションは拡張パーティション内の論理ドライブとなります。



ドライブを結合する

隣り合った２つのドライブを結合することができます。

操作例ではＣドライブ（Windowsがインストールされたシステムドライブ）とＤドライブを結合し、Ｃドライブだけにします。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

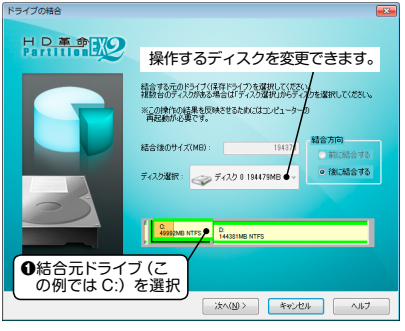
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「結合」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「結合」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

この例ではＣとＤドライブを結合するので、ドライブバーのＣドライブをクリックします。

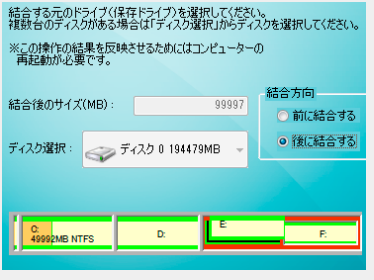


4 結合方向を指定

結合する方向を選択します。この例では、Ｃドライブの後ろにＤドライブがありますので、「後に結合する」を選択します。

Point

下のようなケースでは、Ｅドライブを結合元として選択後、「前に結合する」を指定すると、ＥとＤドライブが結合し、「後に結合する」を指定するとＥとＦドライブが結合します。



5 データ消去の確認

結合するドライブのファイルシステムにFAT32が含まれる場合やクラスタサイズが異なる場合は、結合先ドライブのデータは消去されます。

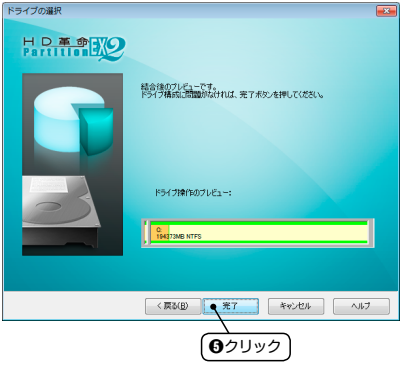
NTFSの場合は結合元ドライブにデータが保存されます（2-23ページコラム参照）。

メッセージが表示されますので、結合先のドライブを確認します。

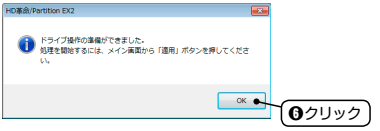
ここで「はい」をクリックしても、まだ消去は行われません。

6 結合状態を確認

結合後の状態を確認します。



確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



7 メイン画面で確認

ドライブバーには結合後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。

結合を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

8 ドライブの結合を適用

ドライブの結合を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

＊　＊

以降は「ドライブの境界位置を移動してサイズを変更する」と同様にコンピューターが再起動して処理が行われます（2-8ページ❾～）。

システムドライブ以外を分割する場合はWindowsが起動した状態で処理が行われます（2-14ページ❼～）。

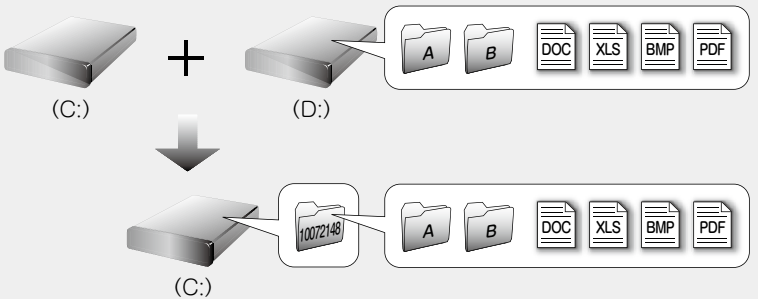
操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

ドライブ結合時のデータ保存について

HD革命/Partition EX2でドライブの結合を行う場合、結合する2つのドライブのファイルシステムがNTFSであれば、結合先のデータを消去せずにドライブを結合することができます。
このとき、結合先のデータは結合元のドライブに作成した日付と時間を表したフォルダー（例：10101030）内に保存されます。
ただし、結合するドライブのファイルシステムがNTFSであってもクラスタサイズが異なる場合や、ファイルシステムがFAT32の場合は、結合先ドライブのデータは結合時に消去されます。

●ドライブ結合の例

例として、CドライブとDドライブを結合するとします（結合元：Cドライブ、結合先：Dドライブ）。
Dドライブには、下のようにフォルダーとファイルが含まれています。



C、Dドライブを結合してCドライブのみにすると、Cドライブ中に日付と時間を名前とするフォルダー（この例では「10072148」）が新たに作成され、その中にDドライブのデータが保存されます。

ドライブを移動する

隣りに空き領域がある場合にドライブを移動することができます。
操作例ではＤドライブを、空き領域のある後方に移動します。

⚠ ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

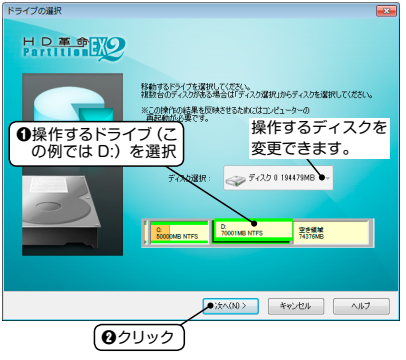
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「移動」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「移動」ボタン をクリックします。

3 パーティションの選択

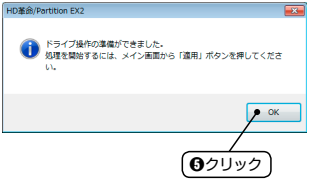
この例ではＤドライブを移動しますので、ドライブバーの中でＤドライブをクリックします。



4 移動先位置を設定

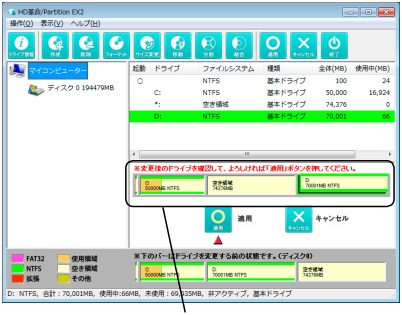
移動先の位置を指定します。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「OK」をクリックします。



5 メイン画面で確認

ドライブバーには、ドライブ移動後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



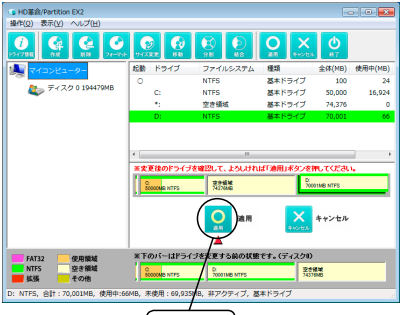
移動を実行すると、どのような状態になるかが表示されます。

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

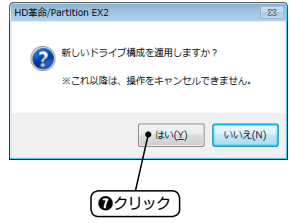
6 ドライブの移動を適用

ドライブの移動を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。



❻クリック

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。



❼クリック

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「チェックディスクの実行」（2-14ページ❼）以降の手順と同様となります。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

ドライブをフォーマットする

ドライブをフォーマットすることができます。操作例ではＤドライブをフォーマットします。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「フォーマット」をクリック

メイン画面を開き、ツールバーの中の「フォーマット」ボタンをクリックします。

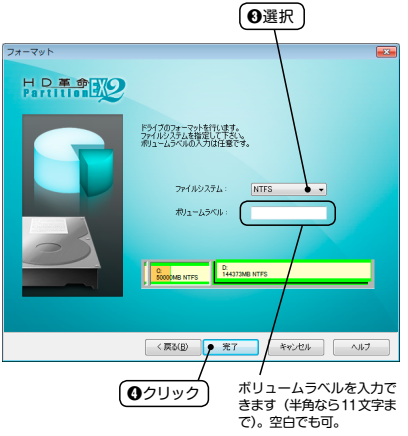
3 パーティションの選択

この例ではＤドライブをフォーマットしますので、ドライブバーの中でＤドライブをクリックします。

「システムで予約済み」と表示されたドライブおよびリカバリー用のデータが保存されているドライブはフォーマットしないでください。

4 ファイルシステムの選択

ファイルシステムを選択します。

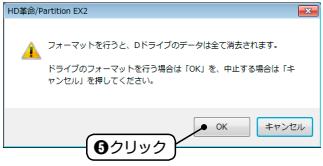


Point

ファイルシステムがFAT32のときの最大値は32GB（32,768MB）となり、それ以上のサイズの場合は、NTFSしか選択できません。

5 フォーマットの確認

フォーマットを行うドライブのデータは消去されます。確認のメッセージが表示されますので、ドライブを確認します。



ここで「OK」をクリックしても、まだフォーマットは始まりません。

確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

6 メイン画面で確認

ドライブバーには、フォーマット後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。

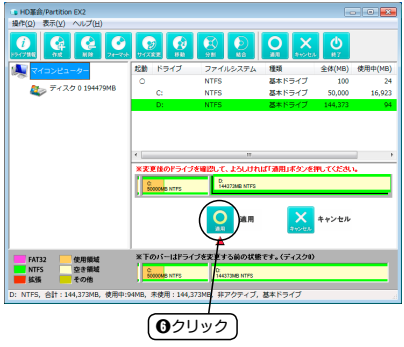
フォーマットを行うドライブが浮き上がって表示されます。

Point

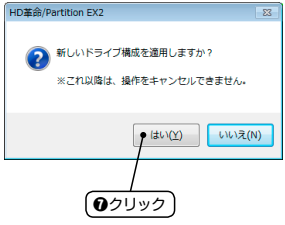
「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

7 フォーマットを適用

フォーマットを適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。



確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。



以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「進行状況の確認」（2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

ドライブを削除する

ドライブを削除して空き領域にすることができます。空き領域は隣のドライブからのサイズ拡大、移動部分として使うことができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「削除」をクリック

メイン画面を開き、ツールバーの中の「削除」ボタンをクリックします。

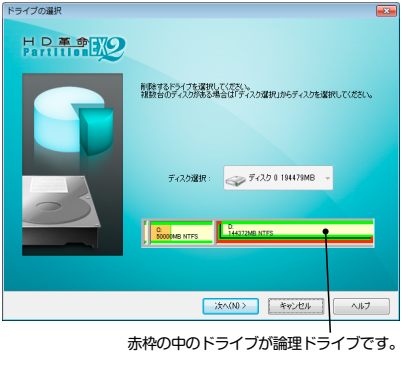
3 パーティションの選択

削除するドライブをクリックします。

「システムで予約済み」と表示されたドライブおよびリカバリー用のデータが保存されているドライブは削除しないでください。

(基本ドライブを削除する場合)

(論理ドライブを削除する場合)



4 削除するドライブの確認

削除するドライブを確認します。

「完了」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

(基本ドライブを削除する場合)

削除するドライブは「空き領域」と表示されます。

❸クリック

(論理ドライブを削除する場合)

削除するドライブは、赤枠の中に「空き領域」と表示されます。

5 メイン画面で確認

ドライブバーには、削除後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。

削除後の状態が表示されます。

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 ドライブ削除を適用

ドライブ削除を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

＊　＊

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小)」の「進行状況の確認」(2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

システム環境によってはコンピューターが再起動して処理が行われます（2-8ページ❾～)。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

拡張パーティションを削除する

拡張パーティションの中に論理ドライブが存在しない場合、拡張パーティションを削除することができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「削除」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「削除」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

赤枠で表示された拡張パーティションを選択します。

指定した拡張パーティションが赤く表示されます。

4 削除する拡張パーティションを確認

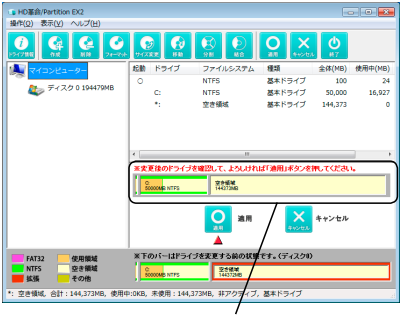
削除する拡張パーティションを確認します。

「完了」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

削除する拡張パーティションは「空き領域」と表示されます。

5 メイン画面で確認

ドライブバーには、削除後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



削除後の状態が表示されます。

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

6 拡張パーティションの削除を適用

拡張パーティションの削除を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

❹クリック

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

❺クリック

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「進行状況の確認」（2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

基本パーティションを作成する

空き領域に新たに基本パーティションを作成することができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「作成」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「作成」ボタンをクリックします。

3 パーティションの選択

基本パーティションを作成する空き領域をクリックします。

4 パーティションの種類を選択

この例では基本パーティションを作成しますので、「プライマリパーティション」を選択します。

Point

既にプライマリパーティションが 3 つある場合には「拡張パーティション」しか選択できません。

5 ファイルシステムの選択

作成する基本パーティションのファイルシステムを選択し、ドライブのサイズを指定（空き領域のすべてを割り当てる場合はそのまま）します。必要に応じてボリュームラベルを設定することができます。

Point

サイズの入力は MB（メガバイト）単位で行います。1GB（ギガバイト）は約 1000MB なので、20GB の領域を作成したい場合は 20000 と入力します（値は少し増減します）。
また、ファイルシステムを FAT32 にするときの最大値は 32GB となり、それ以上のサイズの場合は NTFS しか選択できません。

作成するサイズを指定できます。

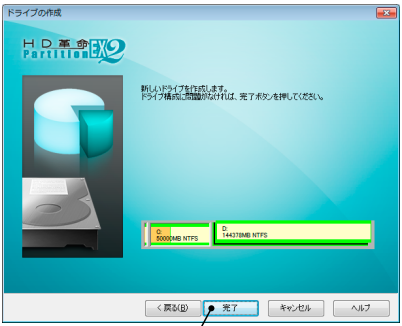
❻クリック

ボリュームラベルを入力できます（半角なら11文字まで）。空白でも可。

6 作成後の状態を確認

基本パーティション作成後の状態を確認します。

「完了」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



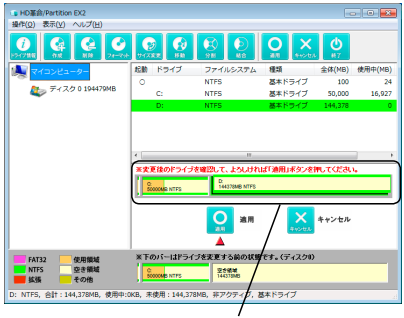
❼クリック

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

7 メイン画面で確認

ドライブバーには、作成後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



基本ドライブ作成後の状態が表示されます。

8 基本パーティションの作成を適用

基本パーティションの作成を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

＊　　＊

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「進行状況の確認」（2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

拡張パーティションを作成する

ベーシックディスクのハードディスクでは基本パーティションを４つまでしか作成できません。５つ以上のドライブを作成するためには、４つの基本パーティションのうちの一つを拡張パーティションとする必要があります。拡張パーティションは空き領域に作成することができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「作成」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「作成」ボタンをクリックします。

3 空き領域の選択

空き領域をクリックします。

4 パーティションの種類を選択

この例では拡張パーティションを作成しますので、「拡張パーティション」を選択します。

5 ドライブサイズを入力

拡張パーティションのサイズを指定できます。空き領域のすべてを割り当てる場合はそのまま「次へ」をクリックします。

Point

サイズの入力は MB（メガバイト）単位で行います。1GB は約 1000MB ですので、20GB の領域を作成したい場合は、20000 と入力します。

6 作成後の状態を確認

拡張パーティション作成後の状態を確認します。「完了」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。

❻クリック

7 メイン画面で確認

ドライブバーには、作成後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。

拡張パーティション作成後の状態が表示されます。

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

8 拡張パーティションの作成を適用

拡張パーティションの作成を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

❼クリック

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「進行状況の確認」（2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

⚠ 操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

⚠ 拡張パーティションを作成しただけではまだドライブとして使用できません。この後に拡張パーティションの中に論理ドライブを作成する必要があります。

拡張パーティションの中に論理ドライブを作成する

拡張パーティションの中のドライブを論理ドライブといい、拡張パーティションの中の空き領域に作成することができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクや USB メモリー、CD/DVD などにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 「パーティションの操作」を選択

Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「作成」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「作成」ボタンをクリックします。

3 空き領域の選択

赤枠で表示された拡張パーティションの中の空き領域をクリックします。

4 パーティションの種類を選択

この例では論理ドライブを作成しますので、「論理ドライブ」を選択します。

5 ファイルシステムの選択

作成する論理ドライブのファイルシステムを選択し、ドライブのサイズを指定（空き領域のすべてを割り当てる場合はそのまま）します。

必要に応じてボリュームラベルを設定することができます。

Point

サイズの入力は MB（メガバイト）単位で行います。1GB（ギガバイト）は約 1000MB なので、20GB の領域を作成したい場合は 20000 と入力します（値は少し増減します）。
また、ファイルシステムを FAT32 にするときの最大値は 32GB となり、それ以上のサイズの場合は NTFS しか選択できません。

作成するサイズを指定できます。

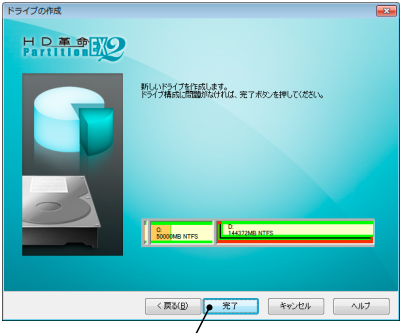
❻クリック

ボリュームラベルを入力できます（半角なら11文字まで）。空白でも可。

6 作成後の状態を確認

論理ドライブ作成後の状態を確認します。

「完了」をクリックすると確認メッセージが表示されますので「OK」をクリックします。



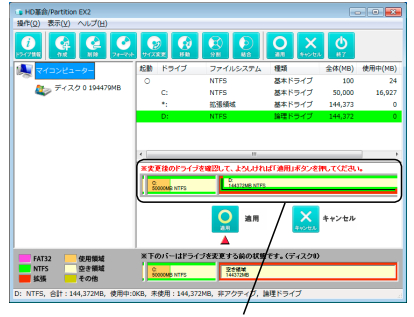
❼クリック

Point

「適用」をクリックするまでは、実行はされません。やり直す場合は「キャンセル」をクリックし、再度、操作を行います。

7 メイン画面で確認

ドライブバーには、作成後のドライブの状態が表示されますので、下に表示されている変更前の状態と比較することができます。



論理ドライブ作成後の状態が表示されます。

8 論理ドライブの作成を適用

論理ドライブの作成を適用する（実行する）場合は、メイン画面の「適用」をクリックします。

確認メッセージが表示されますので、実行する場合は「はい」をクリックします。

＊　　＊

以降は「ドライブを縮小する（データドライブの縮小）」の「進行状況の確認」（2-14ページ❽）以降の手順と同様となります。

操作を途中で止めてしまうとパーティションが破損してしまいます。**操作が終了するまでは、電源を切る、リセットを行うなどの操作を行わないようにしてください。**

基本パーティションの１つを論理ドライブにする

ハードディスクに既に４つの基本パーティションが作成されていると、それ以上パーティションを作成することはできません。その場合は基本パーティションの１つを削除して拡張パーティションを作成し、そこに複数の論理ドライブを作成することができます。

ドライブの操作を行う前に、重要なファイルを別のハードディスクやUSBメモリー、CD/DVDなどにバックアップしてください。また、ファイルだけではなく、ドライブを丸ごとバックアップするようなソフトウェアでバックアップするとより安全です。

1 ドライブの削除

はじめに基本パーティションの１つを削除します。

メイン画面で「削除」をクリックします。

表示されたウィザードの画面で、削除するドライブを選択します。

この例では一番後ろのEドライブを削除しますので、削除するドライブをクリックします。詳しい操作手順は2-28ページをご覧ください。

ドライブの削除を行うと、そのドライブ内のデータは削除されます。必要なデータが残っていないかどうか確認してから操作を行うようにしてください。

表示された画面の中で削除するドライブを確認します。

2 変更を適用

メイン画面に戻り、「適用」をクリックします。

❹クリック

処理中は進行状況が表示されます。

3 拡張パーティションの作成

次に拡張パーティションを作成します。

メイン画面で「作成」をクリックします。

表示されたウィザードの画面で、基本パーティションを削除した部分にできた「空き領域」をクリックします。詳しい操作手順は2-34ページをご覧ください。

❻クリック　❺空き領域をクリック

「拡張パーティション」を選択します。

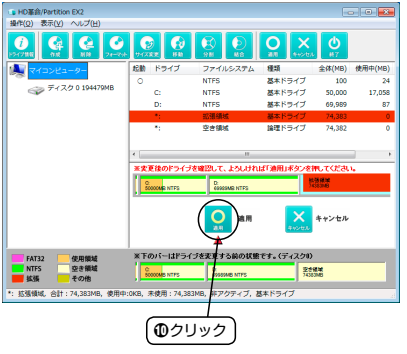
❼クリック

❽クリック

サイズを入力します。空き領域をすべて割り当てる場合はそのまま「次へ」をクリックします。

4 変更を適用

メイン画面に戻り、「適用」をクリックします。



処理中は進行状況が表示されます。

5 論理ドライブの作成

最後に論理ドライブを作成します。

メイン画面で「作成」をクリックします。

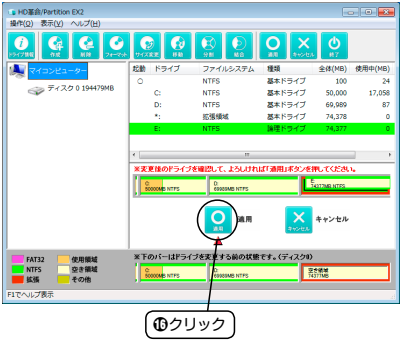
表示されたウィザードの画面で、赤枠表示された拡張パーティションの中の空き領域をクリックします。詳しい操作手順は2-37ページをご覧ください。

「論理ドライブ」を選択します。

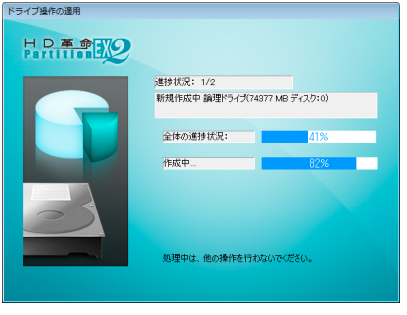
サイズを入力します。空き領域をすべて割り当てる場合はそのまま「次へ」をクリックします。

6 変更を適用

メイン画面に戻り、「適用」をクリックします。



処理中は進行状況が表示されます。



論理ドライブが作成され、画面が終了します。

ドライブ情報を表示する

コンピューターに接続されているハードディスクの、各ドライブの詳細な情報を表示することができます。

1 「パーティションの操作」を選択

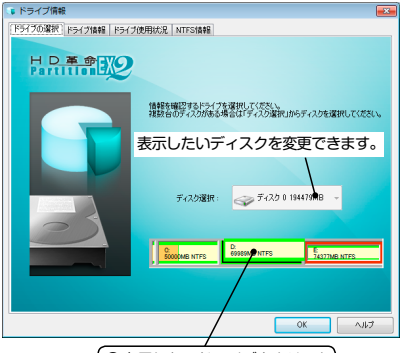
Arkランチャーで「パーティションの操作」を選択します。

2 メイン画面で「ドライブ情報」をクリック

メイン画面で、ツールバーの中の「ドライブ情報」ボタンをクリックします。

3 表示するドライブを選択

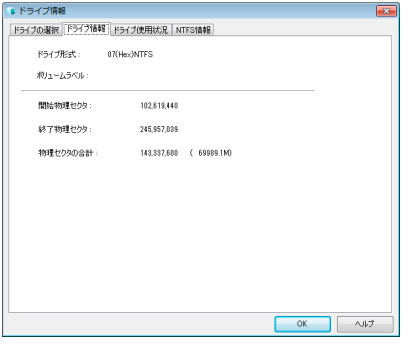
情報を表示したいドライブを選択します。



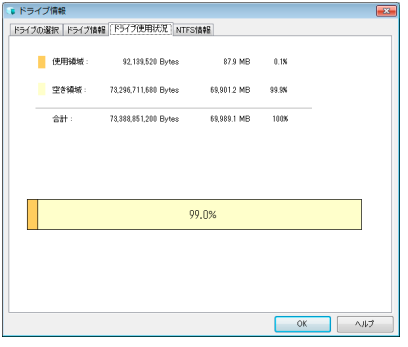
4 各タブを表示

「ドライブ情報」「ドライブ使用状況」「FAT情報」（NTFSのときは「NTFS情報」）「クラスタ利用率」の各タブで、関連の詳細情報を確認することができます。

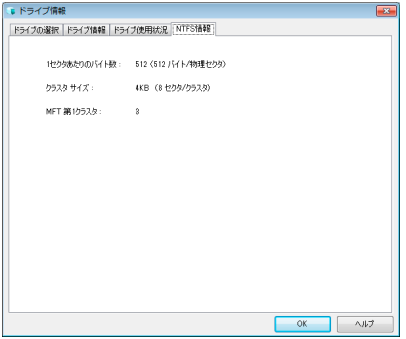
ドライブ情報



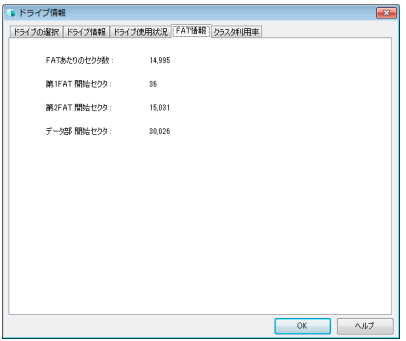
ドライブ使用状況



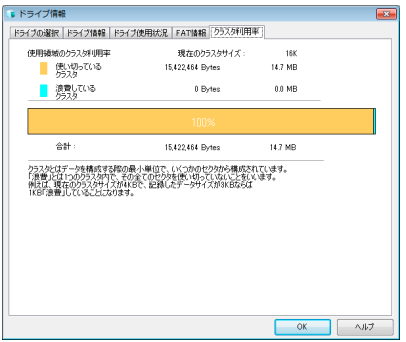
NTFS情報



FAT情報



クラスタ利用率

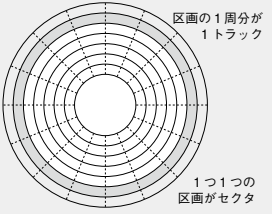


Point

トラックとセクタ…ハードディスクの中では回転する磁気を帯びた円盤にデータを書き込んだり消去しています。データが記録される区画の最小単位をセクタと呼び、セクタの1周分をトラックと呼びます。

クラスタ…データの記録はセクタ単位で行われますが、Windowsは複数のセクタからなるクラスタという単位でデータを管理しており、データの読み書きはこのクラスタ単位で行われます。

ジオメトリ…ハードディスクに関する情報（トラック数、セクタ数など）のことです。

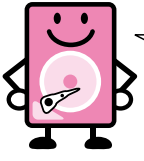


ダイナミックディスク…Windows 7/Vista/XP/2000およびサーバー系Windowsで利用可能なディスク管理方法。ダイナミックディスクでは「ボリューム」と呼ばれる単位でディスクの管理をします。
ボリュームには、シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5が存在しますが、ミラーとRAID-5はサーバー系Windowsのみサポートしています。

ベーシックディスク…基本パーティション、拡張パーティション、論理ドライブで構成される従来のディスク管理方法を「ベーシックディスク」と呼びます。

第３章

CD で起動して
パーティションを操作



HD 革命 /Partition EX2 の製品 CD を使用してコンピューターを起動し、パーティションの操作を行う方法を説明しています。

CD でコンピューターを起動

HD 革命 /Partition EX2 の製品 CD（ブータブル CD）でコンピューターを起動して、パーティションの操作を行うことができます。

CD 起動版は Windows 上で使用することができませんので、このページの操作を行い HD 革命 /Partition EX2 を起動してください。

1 コンピューターを起動

製品 CD またはブータブル CD をドライブに挿入した状態でコンピューターを起動します。

2 起動の選択

次のメッセージが表示されている間に、キーボードで何かキーを押します。

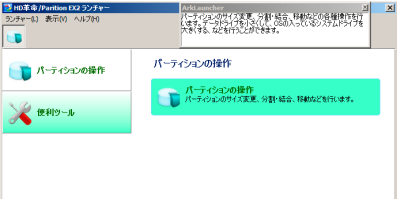
```
Press any key to boot from CD or DVD..
```

Point

何もキーを押さないときは CD からの起動がキャンセルされ、ハードディスクから起動します。

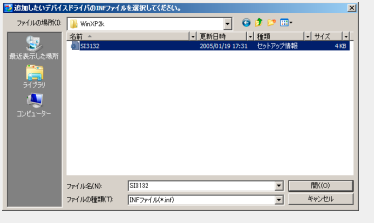
3 操作の選択

Ark ランチャーが起動しますので、操作を選択します。操作手順は各機能のページを参照してください。ドライバのインストールについては右のコラムを参照してください。



ドライバのインストール

CD で起動後の Ark ランチャーで、「便利ツール」→「デバイスドライバのインストール」を選択し、表示された画面でハードディスクの認識に必要な RAID や SATA などのドライバを追加できます。ドライバ情報ファイル（inf ファイル）を選択してください。ハードディスクが認識できる場合はこの操作は不要です。ドライバは通常ハードウェアに添付されていますが、ハードウェアメーカーの Web サイトからダウンロードが必要な場合もありますので、詳しくは該当の Web サイトをご覧いただくか、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。



CD で起動してパーティションの操作

HD 革命 /Partition EX2 の製品 CD でコンピューターを起動してパーティション操作を行うことができます。この場合の基本的な操作は Windows にインストールして操作を行うときと同様ですが、システムドライブの操作を行う場合でもコンピューターを再起動せずに処理が行われます。

1 コンピューターを起動

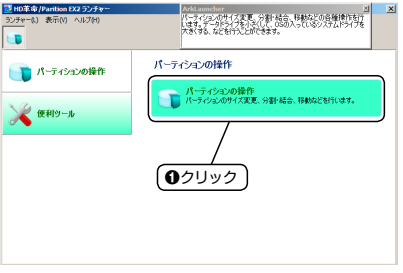
3-2 ページの ❶ ～ ❸ の手順でコンピューターを起動します。

2 パーティション操作の準備（必要な場合のみ）

ハードディスクを認識するために RAID や SATA などのドライバが必要な場合は Ark ランチャーで「便利ツール」→「デバイスドライバのインストール」を選択し、ドライバを追加します（ハードディスクが認識できる場合は不要）。

3 「パーティションの操作」を選択

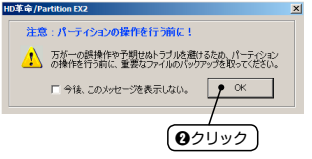
Ark ランチャーで「パーティションの操作」を選択します。



4 パーティション操作

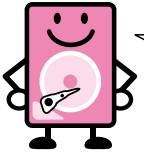
HD 革命 /Partition EX2 のメイン画面の起動前に注意事項が表示されます。

パーティション操作は、Windows にインストールして行う操作と同様となりますので、2-6 ページ以降をご覧ください。



第４章

便利ツール



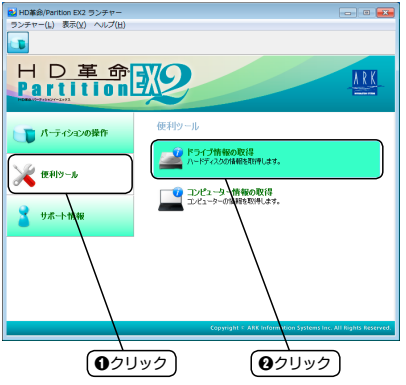
ここでは、HD 革命 /Partition EX2 を、より有効に利用していただくための便利ツールについて説明しています。

ドライブ情報の取得

コンピューターに接続されているハードディスクドライブの情報を取得し、表示することができます。

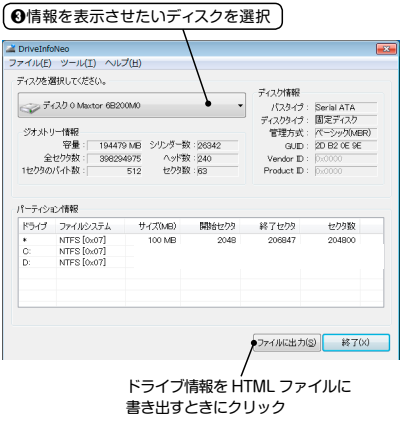
1 「ドライブ情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ドライブ情報の取得」を選択します。



2 ドライブ情報の取得

情報を表示したいドライブを選択します。



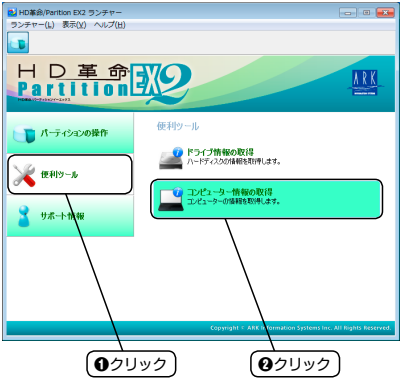
この画面の「ツール」メニューには Windows やパーティション情報を変更する機能がありますが、誤った操作を行うと Windows を起動できなくなります。Windows やパーティションの状態に問題がないときには使用しないでください。

コンピューター情報の取得

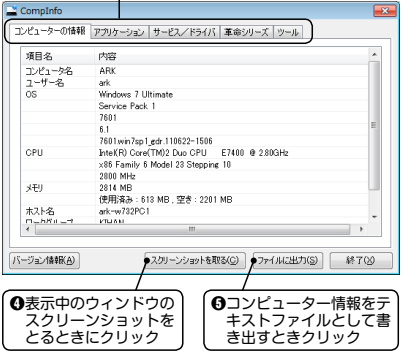
コンピューターに関する情報を取得し、表示することができます。

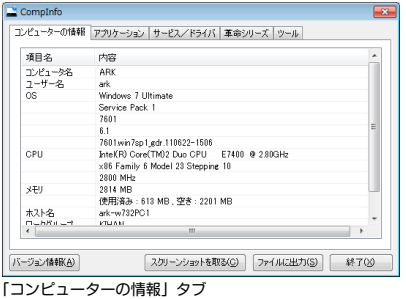
1 「コンピューター情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「コンピューター情報の取得」を選択します。

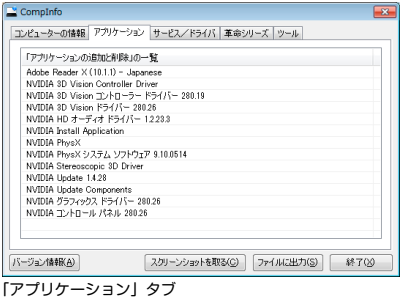


2 コンピューター情報の取得

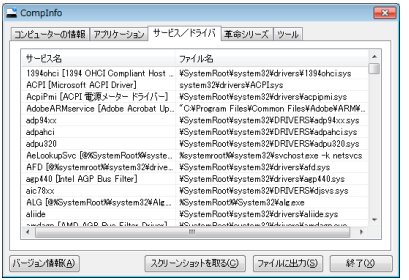




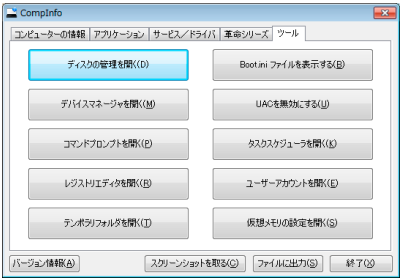
「コンピューターの情報」タブ



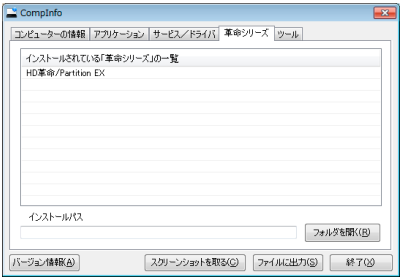
「アプリケーション」タブ



「サービス／ドライバ」タブ



「ツール」タブ



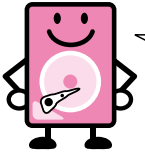
「革命シリーズ」タブ

Point

「ツール」タブで「ディスクの管理」「タスクスケジューラ」など Windows の機能を呼び出すことができます。

第５章

参考資料



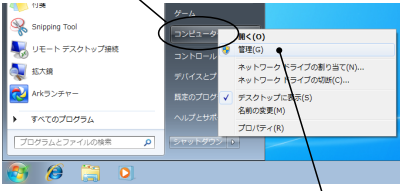
ここには、HD 革命 /Partition EX2 をお使いいただく上で、参考にしていただくための資料がまとめてあります。

ディスクの初期化とパーティションの作成(Windows 7/Vista)

1 ディスクの初期化

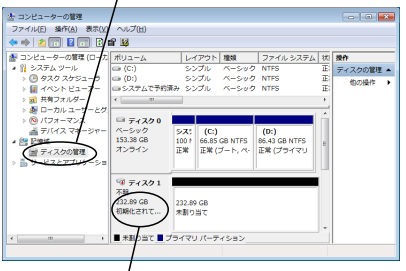
初期化したいハードディスクを接続し、Windows 7/Vista を起動します。

❶「スタート」をクリックし、「コンピューター」を右クリック



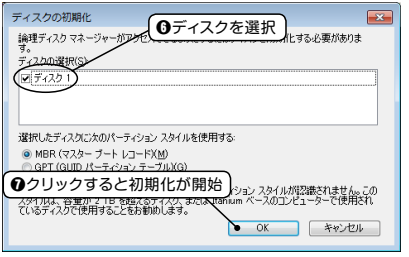
❷「管理」をクリック

❸「ディスクの管理」をクリック



❹「初期化されていません」の表示部を右クリック

❺表示されたメニューで「ディスクの初期化」をクリック

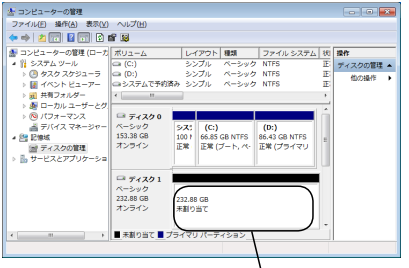


❻ディスクを選択

❼クリックすると初期化が開始

2 パーティションの作成

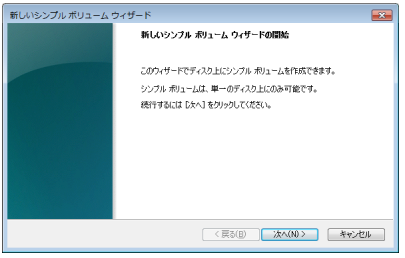
初期化に続いて、「ディスクの管理」からパーティションを作成することができます。



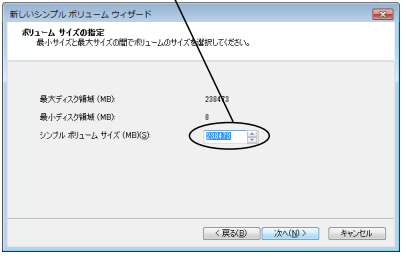
❶「未割り当て」を右クリック

❷「新しいシンプルボリューム」をクリック

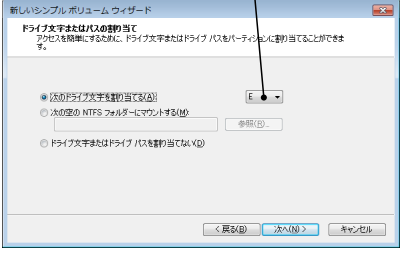
「新しいシンプル ボリューム ウィザード」が起動します。



❸サイズを必要に応じて指定



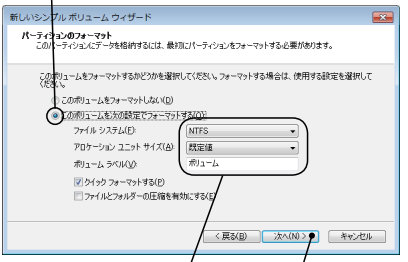
❹ドライブ文字を選択



Point

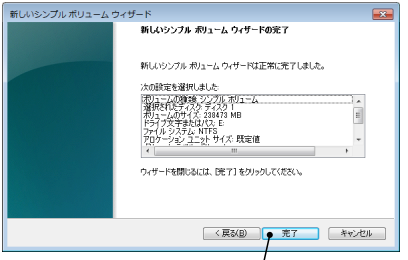
サイズが 32GB 以上のときはファイルシステム「FAT32」は選択できません。
「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。

❺選択

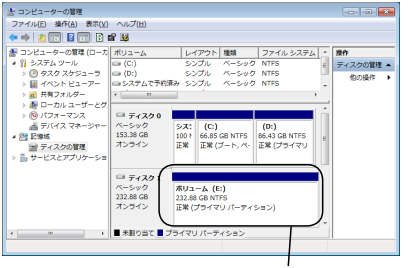


❻通常は「NTFS」「既定値」のままにして、ボリュームラベルを入力

❼クリックするとパーティション作成開始



❽クリックするとパーティション作成終了



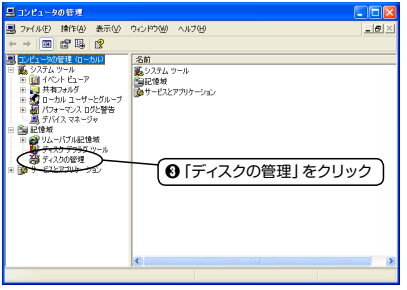
作成されたパーティション

「フォーマット中」と表示されている間は、パーティション操作はせずに、終了するまでお待ちください。

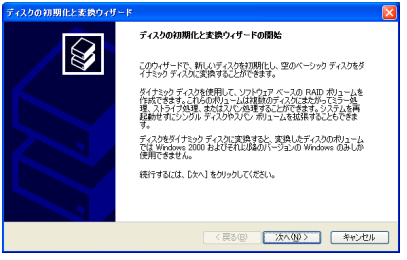
ディスクの初期化とパーティションの作成（Windows XP）

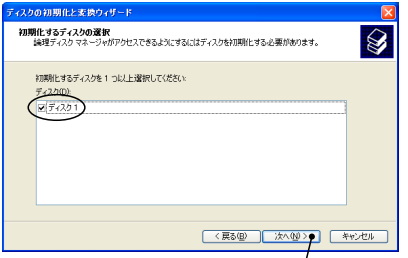
1 ディスクの初期化

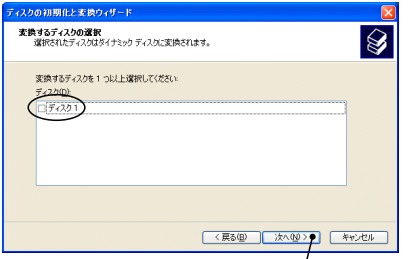
初期化したいハードディスクを接続し、Windows XP を起動します。

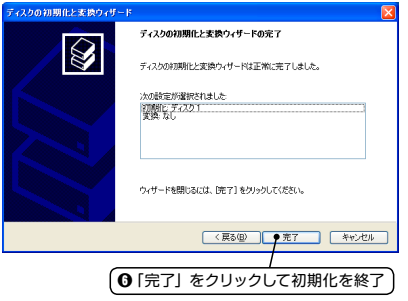


ハードディスクが初期化されていない場合、「ディスクの管理」を表示すると、次の「ディスクの初期化と変換ウィザード」が開始します。





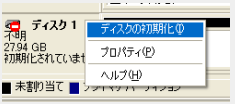




Point

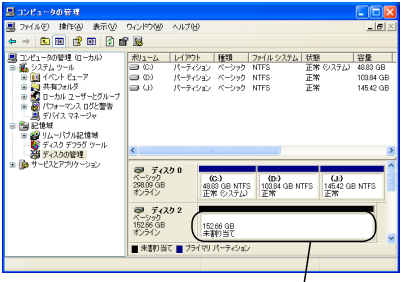
「ディスクの初期化と変換」ウィザードが表示されないとき、「初期化されていません」と表示されている部分を右クリックします。

表示されたメニューで「ディスクの初期化」を選択するとウィザードが開始します。

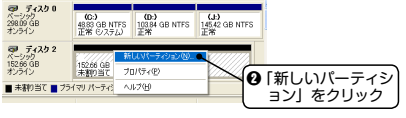


2 パーティションの作成

初期化に続いて、「ディスクの管理」からパーティションを作成することができます。

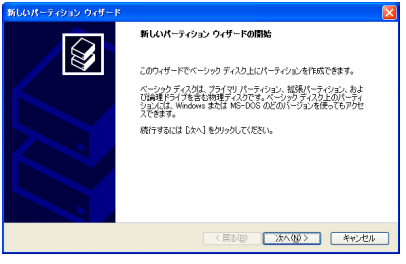


❶「未割り当て」を右クリック

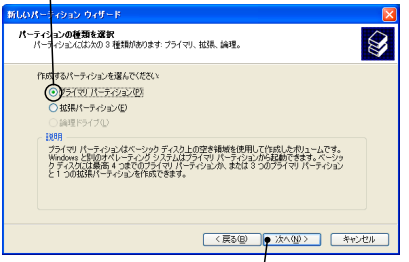


❷「新しいパーティション」をクリック

「新しいパーティション ウィザード」が起動します。

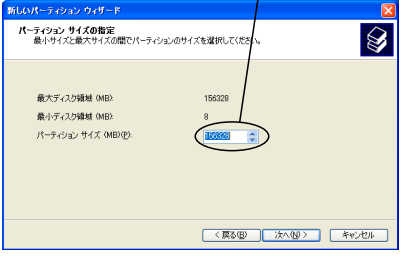


❸通常は「プライマリパーティション」を選択

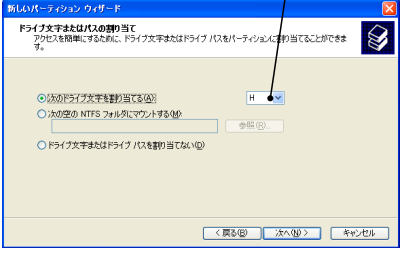


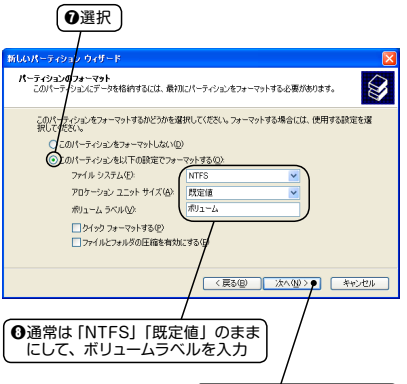
❹クリック

❺必要に応じてサイズ指定



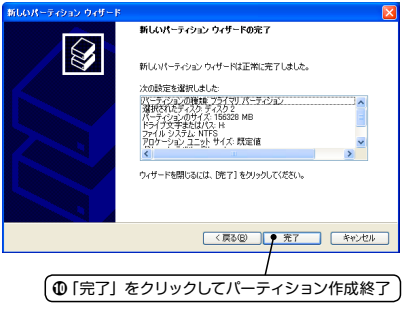
❻ドライブ文字を選択





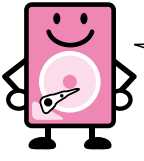
Point

サイズが 32GB 以上のときはファイルシステム「FAT32」は選択できません。
「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。



「フォーマット中」と表示されている間は、パーティション操作はせずに、終了するまでお待ちください。

付　録



主に、ユーザーサポートに関連する情報を掲載しています。

㈱アーク情報システム　お客様情報保護方針

株式会社アーク情報システム（以下､弊社という）は個人情報保護に細心の注意を払っております。
お客様にご登録いただいた個人情報（以下、お客様情報という）に対し、弊社情報セキュリティ方針に従い、適切な保護を行います。
以下にお客様情報の保護方針を記載いたします。

1．お客様情報および使用目的について

弊社製品購入時のユーザー登録、セミナー参加申込み、お問合せフォーム等でお名前、ご住所、電話番号、電子メールアドレス、パスワード、弊社製品シリアル No. 等のお客様情報をお預かりする場合があります。

お預かりしたお客様情報は下記の場合に使用いたします。

・ご購入いただいた弊社製品のサポートをご利用いただく場合
・弊社から製品等をご購入いただく場合
・弊社が企画・参加するセミナー・イベントのご案内をする場合
・各種お申込みのお礼、またお申込みをいただいた資料等を送付する場合
・弊社製品のアップデータ、およびそれらの情報をご提供する場合
・弊社新製品の情報、およびサービス等をご案内する場合

2．お客様情報の提供および開示について

原則として、お客様情報を第三者へ提供・開示することはありません。ただし、以下の利用目的でお客様情報を提供させていただく場合があります。

・外部業者への業務委託をする場合

お客様へ製品・サービス・弊社情報等を発送や提供するため、アンケート等を実施するため等で、外部業者等へ業務を委託する場合があります。この場合には、弊社の厳正な管理の下で業務を行うことを目的に、必要最小限のお客様情報を提供する場合があります。

・法令等に基づき、お客様情報の開示が必要な場合

法令や条例等で認められた権限を持つ機関からの要請があった場合には、お客様の許可なくお客様情報を提供・開示する場合があります。

・クレジットカード会社、その他金融機関とのお客様情報の共有

クレジットカードによるオンライン決済やその他の決済のためにお客様のお名前等をクレジットカード会社、その他金融機関に照会させていただく場合があります。

3．お客様情報の管理について

お客様情報を厳正に保護し、不正使用、漏えい、棄損、改ざん、不正アクセス等の無いように努めます。

お客様情報の閲覧、変更等は、弊社 Web サイトにてお客様ご自身で行うことが出来る場合があります。お客様情報の取り扱いに関するお問合せ、および変更等がお客様ご自身で行うことの出来ない場合には各製品のお客様相談窓口までご連絡をお願いいたします。お客様ご自身を弊社にてご確認させていただけた場合に限り、合理的範囲内で速やかにご対応させていただきます。

4．セキュリティについて

個人情報保護規定を策定し、適切な運用管理に努めております。お預かりしたお客様情報は、ファイヤーウォール等で保護されたサーバーに

て保管し、不正アクセス等による漏えい、改ざんの起こらないように努めます。

弊社 Web サイトにて、お客様情報をお預かりする際やお客様ご自身でお客様情報の閲覧、変更等を行う場合には、SSL（Secure Socket Layer）プロトコルを使用して安全性を高めております。

お客様がご自身の個人情報を管理するために設定された電子メールアドレス、パスワード等に関しては、お客様ご自身で厳重な管理をお願いいたします。

5．Cookie（クッキー）使用について

弊社 Web サイトでは、Cookie と呼ばれる技術を使用したページがあります。この Cookie 技術の使用により、より利用しやすい Web サイトのご提供を行っております。

ただし、この Cookie により、お客様情報を識別するものではありません。また、Cookie 機能をお客様により無効とされた場合には弊社 Web サイトの全部、または一部がご使用いただけない場合があります。

6．個人情報保護方針に関する改訂について

弊社では、より良くお客様の個人情報の保護を図るために、また法令その他の規範の変更に伴い、お客様情報保護方針の全部または一部を改訂することがありますので、定期的にご確認されることをお勧めいたします。

7．お客様情報に関するお問合せについて

お客様情報保護方針、およびお客様情報に関するお問合せ窓口は下記で承っております。

・株式会社アーク情報システム
　企画販売部　お客様情報保護方針相談窓口
・E-Mail　お客様情報保護方針担当
　privacy@ark-info-sys.co.jp
・ホームページ
　http://www1.ark-info-sys.co.jp/

ユーザーサポートのご利用にあたって

お問い合せになる前に

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。
http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html

②アップデータをダウンロードする

最新アップデータを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロードしてください。
http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html

③弊社サポートへ問い合わせる

上記によっても解決しないとき、またはインターネット接続ができない場合に弊社ユーザーサポートをご利用ください。

お問い合せにあたって

■ メールフォーム：https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp
■ FAX：03-3234-9252
■ TEL：03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く㈪～㈮の10～12時、13～17時）

お問い合わせいただく際、メール、FAX、電話のいずれの場合においても以下の項目が必要です。
① ユーザーID
②製品名、バージョン、シリアルナンバー
③ご使用のOS（Windows XP など）
④ エラーメッセージ全文

障害の状況により、さらに詳しい情報が必要な場合があります。エラーが発生するまでの手順を、箇条書きでお知らせください。
（例）

1. パーティションのサイズ変更後、メイン画面で「適用」ボタンをクリック
2. アプリケーションエラーが発生
   エラーメッセージ「*******」（正確に転記してください）

※ FAX の場合、「ユーザーサポート申込書」をコピーしてご記入のうえお送りください。
※メール・FAX の場合、お問い合わせの内容により3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。
※曜日や時間帯によってはお問い合わせが集中し、お電話がつながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。

⚠ 弊社で動作保証している環境以外（自作のコンピューター、ショップメイドのコンピューター、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいては、パーツの相性や、デバイスドライバーがその一因となっていることがあります。
その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。
他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

この用紙をコピーして各項目にご記入の上、下記まで FAX にてお送りください。

必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください。

FAX 03-3234-9252

株式会社アーク情報システム　企画販売部 ユーザーサポート係　行

「HD革命/Partition EX2」ユーザーサポート申込書

お使いの環境を、わかる範囲でご記入ください（この用紙でユーザー登録はできません）。

●弊社からお客様への連絡方法（FAX、E-Mail から指定してください。ただし、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。）

1．FAX　　2．E-Mail

●お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品（※ は必ずお書きください）

※お名前：

TEL：　　FAX：

E-Mail アドレス：

※シリアルナンバー：　　ユーザー ID：

アップデータの有無：有・無（Ver.　　）

●お使いのコンピューターについて

メーカー名：

機種名とシリアルナンバー：

メモリー（RAM）容量：

Windows の種類：Windows 7 Starter / HomePremium / Professional / Ultimate（SP　　）

Windows Vista Basic / HomePremium / Business / Ultimate（SP　　）

Windows XP Home / Pro（SP　　）

32 ビット版／ 64 ビット版

接続されている周辺機器：

ボード、カードをご利用の場合

・I/F：SCSI、eSATA、RAID、USB2.0、USB3 .0、IEEE1394、その他（　　）

・メーカー、型番、チップセット：

●お使いのソフトウェアについて

インストールされているアプリケーションプログラム：

●**障害が生じた操作**（□にチェックを入れ、内容を記入してください）

□**インストール時**（□インストール途中　□オートラン起動時　□その他）

エラーメッセージ：

現象：

□**ドライブの境界位置移動時**（　　ドライブ）

□**ドライブの分割時**（　　ドライブ）

□**ドライブの結合時**（　　ドライブと　　ドライブ）

□**ドライブサイズの変更時**（　　ドライブ）

□**ドライブ位置の移動時**（　　ドライブ）

□**ドライブの削除時**（　　ドライブ）

□**ドライブの作成時**（　　ドライブ）

□**ドライブのフォーマット時**（　　ドライブ）

□**ドライブ情報の参照時**（　　ドライブ）

□**その他**

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

・本ユーザーズ・マニュアルは PDF ファイルとして提供しており、Adobe Reader（Adobe 社の閲覧ソフトウェア）を使用し、オンラインマニュアルとしてご利用いただくことができます。
・Adobe Reader はセットアップ画面からインストールすることができます。

・Microsoft ®, Windows®7, Windows®Vista, Windows®XP, Windows PE は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

HD 革命 /Partition EX2 ユーザーズ・マニュアル

2011 年 11 月 1 日　第 1 版発行
発　行　株式会社アーク情報システム
〒 102-0076　東京都千代田区五番町 4- 2　東プレビル

© 2011 Ark Information Systems
乱丁・落丁はお取り替えいたします。
著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。